レッスン：PYR 61

テーマ：生命の木における様々なシンボル

PYR 61 KE07 No.8 02/07

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性のなかに抱かれています。

　前のレッスンで生命の木において様々なシンボルが象徴するものを見て来ました。

三角形はアウタルキーにおける神、つまりそれはLifeそれ自体を意味すると述べました。

それはモナドセルフとしてのLife、またはワンネスとしての多重性におけるLifeです。神は常にOne（一つ）としてみなされるべきであり、神はOne*です*。そしてレッスンのなかで、その多重性からの微細なスパークでさえも神で*ある*といいました。ですから、その三角形はLifeを意味します（それがモナドセルフまたは絶対Lifeであろうと）

　生命の木における他のシンボルは円の中に点のある円です（＊生命の木の図において、左側のB２)。それはアウタルキーにおけるモナドセルフを意味し、それは内側に十字架のある三角形のシンボルの上方にあります。

　神を意味するその三角形、そして三角形、十字架の上の部分は円で、その円の中に点がありますが（＊図におけるB4)、その三角形はまったく同じものを意味しているでしょうか？答えはノーです。

　Lifeを意味する三角形は生命の木の一番上にある三角形です。しかし、もし内側にそのシンボルのない小さな三角形を考えるなら、それもまたアウタルキーにおける絶対存在、つまり絶対Lifeを意味する大きな三角形とまったく同じものを意味します。それでは（＊B４の）半分の十字架と真ん中に点のあるそのシンボルは何を意味しているのでしょうか？それは二元性、バランスの諸世界へのLifeの下降を意味します。

　点のある円はバランスの諸世界、制限ある現れの諸世界に入るLifeのスパークを意味します。

　なぜ制限ある現れの中になのでしょうか？十字は4つのエレメントを意味し、それらのエレメントは、制限ある現れのなかで自己を現す現れによって使われます。それはつまりその現れはLifeの真の本質を現すことはなく、二元性を使うことを意味します；そして今、存在の諸世界におけるその現れがあります、しかしまだその現れはLifeの真の本質を完全に現しています。

　次のシンボルはその下にあるシンボルです、円の中に水平の線があり、その線の中央に点のある円があります（＊B7)。これは、そこから下においては現れはバランス、二元性のなかで現されることを意味します（Lifeが完全に現わされる調和の世界ではなく）。

　バランスの諸世界、それは人間の無知による創造です。

　創造界のあらゆる所は、もし制限ある現れがなければ、それは調和の諸世界となることでしょう。バランスの諸世界は人間の無知によって創造されます。

　さて、もう一つのシンボル、それは四面ピラミッドを意味しますが、下向きの三角形の頂点にあります（＊A10)。それは一番上のアウタルキーにおける絶対存在を意味する三角形と同一形です。

　なぜ大きな下向きの三角形なのでしょうか？なぜなら、実存の諸世界の中におけるそれらの現れはLifeの結果なのです。ですから、決して制限ある現れの世界に入らないLifeがあります。

Page2

多くのレッスンにおいて何であれ制限ある現れのなかにはLifeはないと言いました。なぜなら、Lifeは制限ある現れのなかに取り込まれることはないからです。Life、神は制限ある現れの内側にいる現れを活性化し、その活性化されたものはLifeそれ自体ではありません。ですから、実存の諸世界においてもLifeは存在し、その本質を完全に現します。

　下の三角形にはもう一つのシンボルがあり、それは五芒星です（＊A９）。このシンボルは５つの真の感覚、及び真の感覚の影である感覚を意味します。現在のパーソナリティーが１番目および２番目の潜在的可能性のサイクルにいる間に使う感覚は（大部分目覚めている間に）、５つの影の感覚です。そして時折、記憶または思考の動き、ファンタジーなどを使用して潜在意識的に現在のパーソナリティーは真の感覚を使います。しかし、それらは意識的に使用されていないので、真の感覚の能力は適切に使われていません。つまり、そのパーソナリティーはそれらの真の感覚の動きのスピードや他の能力を利用していないのです。

　しかし、このシンボルは五感だけを象徴するのではなく、同時に真の感覚または影としての感覚を使うことによって、元型としての人間のイデアフォームを象徴します。影としての感覚を使う間、小宇宙的に人体を意味するこのシンボルは、そのポイント、頭は下向きになっています。そしてまた、それは真の感覚を使う人体を意味し、その場合にはポイント、頭は上を向いています；つまり。地のエレメントに囲まれることなく地上に立っていることを意味します。

　もう一つ、中央の柱で五芒星の上にあるのは六芒星です（A6)。この六芒星は２つの三角形､上向きと下向きの三角形からできています。そして中心は同じで、円の中にあります。これはいわゆるキリスト意識を意味し、人間が自己実現に到達し、現在のパーソナリティーの大きなサイクルによって特定されるLifeの本質を現していることを意味します…つまり４番目のサイクルのなかで三面ピラミッドが提供するものを現す、ということです。それは上向きの三角形が意味し、下向きのもう一つの三角形はロゴス、イエスキリストロゴス、絶対存在を意味します；このシンボルは自己実現に到達した人間、パーソナリティーに与えられます。

　さて、生命の木における他のシンボルについては、創造界における聖霊的下降、あるいは聖霊的イデアとも言えますが（なぜならそれはまた一つのイデアだからです）、稲妻のようなシンボルがあり（＊C3)、それは創造界、それ自身の中における絶対存在の動的な現れを意味します。そして様々なアークエンジェルのオーダーがあります。

　もう一つのシンボルは何であれ創造界のなかでいろいろなアークエンジェルのオーダーが創造していることを意味します：動物王国、植物王国、鉱物王国などです（＊C5）。

　それらは人類が自己実現という職務を達成する、つまりモナドセルフがワンネスの多重性からの分離、個別性を認識するのを助けるために創造されています。それが創造界の目的です…それによってパーソナリティーは他人の“I’ness”（自分であること）とは異なった存在として「私は私である」と言うことができるようになるために。

　もう一つのシンボルもまた別のアークエンジェルのオーダーを象徴しており（＊C8)、それは実存の諸世界で働きますが、特に三次元の物質界で働きます。なぜなら、現在のパーソナリティーにとって必要な真のワークはこれらの実存の波動においてであり、サイコノエティカル界の諸世界のなかではないからです。

　それらのシンボルは生命の木の上にありますが、しかしそれらは勿論、単に創造界におけるシンボルだけでなく、それらは様々な法則を意味しています。そうです、これら全てのシンボルは法則を意味し、それら全ての法則は創造の元型のなかにあります。創造の元型は創造界における最大の法則です。しかしそれらの法則はどこに見いだされるのでしょうか？それら全ての法則はLifeの本質のなかにあります。最大の法則ですら最小のなかにすらあります。

　しかし、最小とはどういう意味でしょうか？Lifeは物質の原子のなかにすらある、ということです。そしてその法則は実際そこに*ある*のです。なぜでしょうか？なぜなら、物質の一つの原子はLifeによって活性化されているからです…それが現在のパーソナリティーを活性化するそれであれ、またはアークエンジェルのそれであれ、問題ではありません。

　Page3

ですから、この元型は最小のなかにも見いだされます。私たちの内側にはLifeのスパークがあり、内側に神がいます、そして実際私たち一人一人は神なのです。全ての人がまったくそうなのです。創造界にはとても多くの人間がいるので、それだけ多くの神がいる、等とは言えません。違います、多重性の能力であり、神はひとつしかありません。

　ですから、Lifeのスパークは現在のパーソナリティーの内側にあり、勿論現在のパーソナリティーは肉体ではありません。現在のパーソナリティーとは思考・行動の仕方、そして感じ方以外のなにものでもありません。それが現在のパーソナリティーであり、それはLifeそれ自体の息吹によって活性化されています。Lifeの息？違います、Lifeの息ではありません、それについて考えてください。

　Lifeの息によって何が活性化されるのでしょうか？何であれLifeの息によって活性化されるものは、最終的にLifeの本質を現すことはありません。活性化されるという時、それはLifeの息としてLifeを与えるのとは完全に異なります。Lifeの息とは創造界であり、それは現れではなく、その中ではLifeが完全に見いだされることはありません。それはロゴス的現れではありません。現在のパーソナリティーはLifeによって活性化されていますが、それはロゴス的現れです。なぜならロゴスがモナドセルフとして完全にあるからです。このことは完全に理解すべきです。

　ですから、創造界の元型があり、そして創造界の元型の内側には、先ほど述べたそれら全てのシンボルとは別に、六芒星のみならず七芒星もあります。七芒星は自己実現に到達した「魂のセルフエピグノシスLife」（Soul Self-Epignosis Life)を象徴するシンボルです。探究者としての私たちはそのシンボルを使いませんが、しかしそれは創造界の元型のなかにそれはあるのです。

　八芒星についてはどうでしょうか？八芒星はLifeの本質の中にあります。それは創造の諸世界において見いだされるでしょうか？答えはノーです。ですから、いかなる人間も、創造の諸世界におけるいかなる現れもこのシンボルにアプローチすることはできません。しかし、このシンボルは現在のパーソナリティーを活性化するスパークの中にあるのです。それはLifeの本質の中にあるのですが、しかし私たちはそれにアプローチできません。それは“創造の母”です。私たちは創造の諸世界における一つの現れなので、この母にどうしてアプローチできると言えるでしょうか？母はその現れよりも前にあるものです。ですから、私たちがいかにしてそれにアプローチできると言えるでしょうか？ですから、八芒星はLifeの内側にありますが、しかし創造の諸世界と現れの中にそれを見いだすことはできません。

　７は話したように創造界のなかにありますが、８はありません。

　14芒星については、説明したように、それはお話した前の全てと同じような法則ではありません。それはLifeの特定のスパークによって活性化された、最初のパーソナリティーによって達成されるべきワークをスタートさせ、そして同じLifeのスパークによって活性化された最後のパーソナリティーまで続くものです。そして自己実現が達成された時、その14芒星は完了するのです。

　以前のレッスンで説明しましたが、14芒星の完了はその特定の現在のパーソナリティーに与えられる名誉を象徴しています…つまり、他の人々の苦しみを軽減するために彼等の苦しみを背負うことができるということです。そしてそれは主に不可視のヘルパーが行います。

　これらが創造の諸世界における主なシンボルですが、しかしLifeそれ自体はそれらのシンボルをまったく必要としません。実存の諸世界における人間にとってはそれらのシンボルが必要となるのです…それによって様々な法則にアプローチすることができ、助けが得られ、その結果Lifeそれ自体からもっともっと多くを現すことができるように、です。

Q：ロゴス側の最初の2つのシンボルについてもう一度明確に話してくれますか？

K：最初のシンボル、それは一番上の大きな三角形の角にありますが（＊B2)、それは創造の諸世界に微細なセルフのスパークを投射する聖なるモナドを象徴しています。次のポイントはそれらの微細なスパークが創造の諸世界に入るのを象徴しています。同じサイドの次のポジションのシンボルは、魂のセルフエピグノシスとして今や元型、イデア、法則、原因の諸世界を通過し、魂がそれ自身の微細な部分を投射して実存の諸世界の中で現在のパーソナリティーを活性化するそのスパークです。そして水平の線があり、中心に点がある円がありますが、それは現在のパーソナリティーとしてスパークが入るのを意味しています…最初は完全に再形成されたサイコノエティカル体として。

　後の段階において、このサイコノエティカル体は物質を身に纏い、自動的にその形は変わります。それ以前は元型である人間のイデアフォームと完全にマッチしていたのですが、しかしその現れがある一つの惑星で表現されるや否や、その体はその惑星の4つのエレメントを身に纏い、そしてそれまで完全に再形成されたサイコノエティカル体は球体の形になり、それ故に私たちはLifeの本質を完全に現す体を持たないのです。

Page 4

Q : あなたは五芒星と超感覚について述べました。そして､私たちは思考の速度という能力を認識していない、と言いました。それについて説明して貰えますか？

K：私たちは実際、本来の思考のスピードを使っていません。なぜなら、意識的に、または後に超意識的にも真の感覚を使用していないからです。思考の速度を想像することはできません；それは光の速度よりもずっと速いのです。あなたが何かを考える瞬間、それが何光年遠く離れていても、あなたはその瞬間にそこにいるのです。

　実際、速度というものはありません。なぜなら全てはあなたの内側にあるからです。諸宇宙はあなたの中にあり、そして諸宇宙はLifeであるものと比べたら非常に小さいのです。ですから、実際そこには速度というものはありません。全ては全ての中にあります。しかし思考の速度というもの、それは今この瞬間あなたは何かを考えてそこにいます、それが銀河であれ、あなたの家または何であれ。時間というものはまったくありません。あなたはそれを常に経験していますが、それを認識していないのです。

Q：小さな五芒星と小さな14芒星は現在のパーソナリティーに伴っていますが、どのポイントにおいて、それらはその特定の転生において終わりになるのですか？

K：それは新たな現在のパーソナリティーになる指示があるところで起きます。

Q：生命の木において、ロゴスのサイドと聖霊の下降のサイドの両方がアークエンジェルのオーダーですか？

K：違います。ロゴスのサイド（＊図に向かって左側）では“魂のセルフエピグノシス・モナドセルフ”の現れとして人間のイデア（つまりプログラムされたセルフエピグノシスではない一つのアークエンジェル）があります。それによってモナドセルフの自己実現が達成されるように。

　聖霊のサイド（＊図に向かって右側）にはプログラムされたセルフエピグノシスを持つアークエンジェルのオーダーがあります；つまり創造界の中で特定の決められた仕事をするということです。ロゴスのサイド（＊図に向かって左）では7つの円のある一番上のシンボルはディバインの黙想へと入る聖なるモナドセルフを意味します…このディバインの黙想の活動の中で自分自身から微細なスパークを投射するということです。なぜなら、創造界とは前に説明したようにディバインの黙想の動き、活動であり、何であれこの活動のなかにあるものは粒子であり、Lifeのスパークだからです。

　これ全ては絶対存在のアウタルキーの中で行われます。Lifeの一つのスパークがあなた方一人一人の中にあることを考えてください…創造界における全ての人間の中で。

　全ての細胞と分子が活性化されるなら、それは聖霊つまりアークエンジェル達によって築かれることを意味します。アークエンジェル達が内側に存在し、何であれLifeであるものより小さくなることなしに。しかし勿論、原子または分子はLifeを現しておらず、それらはLifeによって活性化されています。それはLifeによって創造され、活性化されるのです。

　Lifeは全ての細胞と分子によって表現され、その理由は説明しました。なぜならそれら全ては異なったそれぞれのアークエンジェルのオーダーによって活性化されるからです。そしてアークエンジェル達は決して制限ある現れの中に入ることはありません。結局、私たちが自己実現に到達する時、そのパーソナリティーは自分のアークエンジェル的ヒポスタシスを現し、一つのアークエンジェルの真の現れとなるでしょう。しかし、アークエンジェル達はすでに肉体の中にあり、彼等が私たちの肉体の各原子、分子、細胞を活性化させるのです。しかし、肉体は現在のパーソナリティーではありません。

　肉体は現在のパーソナリティーではありません；肉体は聖霊によって創造されたものです。現在のパーソナリティーはサイコノエティカル体です；それは思考体と感情体であり、それは変化し、常に様々なレベルに達します。それ故に、現在のパーソナリティーは絶えず変化していると言うのです；つまりその現れは変化し、徐々にゆっくりとLifeの本質をより多く現すように進んでいきます。それはLifeから非常に多くを現すようになり、自己実現に到達するまで、つまりいわゆるキリスト意識のステート、内なる神のステートを現すようになるまで続きます。そして三面ピラミッドをマスターすることにより非常に多くのことが提供されます；言い換えれば、現在のパーソナリティーの大きなサイクルの潜在的可能性からのものが与えられるのです。

Page5

Q : 宇宙人に関してですが、未来においてスターウォーズのようなものが起こるかもしれないと言われていますが。

K：宇宙人は自己実現に到達した人間です。しかし、あなたがそこで言っているのは自己実現している人類ではなく、マジックではなく発達したテクノロジーによって移動する能力のある人間です。　この地球でそのようなテクノロジーのレベルに到達するにはかなりの年月がかかります。そのようなテクノロジーレベルに到達するのはずっと先です。いいですか、私たちには未だ私たちが達していないそのようなレベルにある人類から自分達を守る保護があります。私たちはその保護に到達しました。Lifeは、例えば力によってそれに立ち向かうレベルに到達していない人類を敵にすることを許していません。

Q：ある科学者達は北極星の近くにあるいくつかの星座を発見した、と言われています｡それらの星座の一つはシグナスと呼ばれていますが、この地球上の人々を助けるために、気づきを高めるエネルギーが送信されたという証拠があるそうです。それは可能ですか？

K：人類のためにはあらゆることがあり得ます。私が言える唯一のことは、他の太陽系からの自己実現した人類が助けているということです。しかし､彼等は痛みを背負う不可視のヘルパーではありません。彼等には肉体はありませんが、彼等は助けを与え、導いています。例えば、人間に対して疑問符を抱かせて、それによってメッセージを与えています…例えば、今回だけが唯一の人生ではない、死んだら全てが終わりということではない、生は続く等。そして勿論そのような他の星からの助けは、地球人類が地球を襲おうとする他の星と同じような科学レベルに到達しても、助けは続くでしょう。

Q：私たちは守られているのですか？

K：私たちは経験を経て進み、そして体験を提供します。覚えているでしょうか、レッスンのなかで言いました：何であれ人間が表現すること、そして空想として表現したもの、それらは実際にはリアリティーを意味しています。その背後にリアリティーのないことが表現されるということはありません。そのリアリティーが既に体験されているか、または未来にそれが体験されるかです。なぜなら、ある惑星上で、又はある太陽系で、ある銀河系で将来体験されるであろうことは、創造界の中ですでにある惑星上のみならず諸銀河で、超銀河上で体験されていて、汎宇宙的潜在意識に記録されているのです。そしてそれら全てはどこにあるのでしょうか？それらはすでに説明したように、私たちの内側にあるのです。ですから、あなたが時々SF映画で観ることはリアリティーに非常に近いのです。細部まで全てが同じということではありませんが。しかし汎宇宙的潜在意識のマインドに記録されていることと非常に近いのです。

　しかし、心配しないでください、それは全て体験のためです。Lifeは続きます。Lifeに終わりはありません。

Q：例えば、後の転生において、私たち自身はこのテクノロジーを使用しないとします；その場合にはそれは他の人々がそれらを体験するための助けとなるのでしょうか？

K：あなたが自己実現に到達したら、あなたは勿論それをもはや体験しません、ですから急ぎなさい。しかし、自己実現に到達したら、あなたはこの地球を去ることはないでしょう；地球全体がまず自己実現に達する必要があります、ですからあなたはその体験を必要とするであろう人々を助けるのです。

　さて、セミナーについてですが、私たちは引き続きミニセミナーを行います。つまり2年に一回ではなく、より頻繁に行うということです。それらのミニセミナーは、彼等のサイズに合わせて参加者を助けていきます。セミナーはキプロスでの規則的なレッスンに参加できない人々のためのものです。

EREVNA PYR61 KE07 02/07